

令和7年度第1回 新見市子ども・子育て会議 会議録

1 日時 令和7年10月27日(月) 13:30~14:50

2 場所 新見市役所防災棟 3階会議室

3 出席した委員 9人

新見公立大学健康科学部健康保育学科	准教授
新見市主任児童委員連絡部会	部会長
にいみ子育てカレッジ評価委員会	代表
新見市保育協議会	代表
新見市放課後児童クラブ	代表
新見市幼児クラブ	代表
新見商工会議所	専務理事
新見市教育委員会教育部	部長
新見市健康福祉部	部長

4 欠席した委員 4名

新見市議会文教福祉常任委員会	委員長(副委員長が代理出席)
新見市小学校長会	会長(副会長が代理出席)
新見市保育所等保護者会	代表
阿哲商工会	会長

5 事務局 8名

健康福祉部	健康医療課	課長
	福祉課	課長
	子育て支援課	課長
教育部		主任
		主任
	学校教育課	主査
		主任
	教育連携推進課	主任

6 会議内容

○事務局

新見市子ども・子育て会議設置要綱第6条第2項の規定に基づき、会議成立の報告。

(1) 開会

○子育て支援課長挨拶。

(2) 委嘱書交付 及び 委員紹介

○事務局

委員及び事務局の紹介の後委嘱書交付。

(3) 会長・副会長の選任

「会長・副会長の選任」について

委員から立候補、推薦がなかったため、委員の発言により事務局案を提示し会長・副会長を選出。

○会長

会長挨拶。

(4) 議事

議事①令和6年度新見市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について

○会長

新見市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価として、令和6年度における実施状況について点検・評価を行う。なお、本日の点検・評価結果については、意見を取りまとめて市HPにて公表予定である。

事務局から

令和6年度新見市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価に先立ち、「新見市子ども・子育て会議」及び「新見市子ども子育て支援事業計画」の概要説明。

続いて、新見市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について、子どもを取り巻く市の状況として、少子化の動向の確認、子育て施策をめぐる状況として、子育て支援施設及び地域子ども・子育て支援事業の利用状況の確認について説明。

○委員

養育支援訪問事業について、令和6年度の量の見込みが29件に対し実績値は60件となっているが、実績値が増加した理由は何か。また、保健師が継続的に支援を行っているとするが、具体的な支援の内容を教えてください。

○事務局

実績値については、訪問家庭が増えているのではなく、同じ家庭に対し、複数回訪問を行う場合が増えていることによる増加である。また、支援については、核家族家庭や共働き家庭が増加してきており、そういった家庭にも丁寧に訪問を行っている。

○委員

病児保育事業について、たんぼぼ保育園、にこにこ保育園、さくらんぼ保育園の3園で実施していると説明があった。にこにこ保育園の今年度の入所児童は0人となっているが、入所児童がいなくても病児保育事業は実施しているのか。

○事務局

にこにこ保育園について、入所児童はいないが、運営はされているので病児保育事業も利用可能となっている。

○委員

にこにこ保育園に保育士は何人いるのか。

○事務局

正確に把握はしていないが、最低でも2名はおられる。

事務局から

新見市の現状や、各事業の量の見込みと実績を踏まえて評価を行った、基本目標・基本施策ごとの実施状況について説明。

○委員

「妊婦相談の充実」の項目について、連絡が取りづらい妊婦の方には、医療機関と連携して連絡を取るようにしていると記述があるが、年間で何名くらい連絡が取りづらい方がいるのか。

また、「相談体制の整備」の項目について、小児救急電話相談#8000の普及に伴い、にこにこ24時間安全安心ダイヤルに対する小児に関する相談件数は減少しているとあるが、年間の相談件数は何件か。

さらに、新見市公式LINE等で子育て支援について発信をしていると思うが、登録者は何人いるのか。

○事務局

「妊婦相談の充実」の項目について、連絡が取りづらい正確な人数は分からないが、妊娠届を提出してもらった時に一度は面接を行っている。その中で妊娠に不安のある方や病院から情報提供があった方には再度の連絡を行っているが、まだ就労中であつたりするため夕方等に連絡を行っている場合があり、そういった件数は10件に満たない件数である。また、妊娠届に保健師の訪問を希望するかという項目があり、ほとんどの方が訪問を希望しないとされるが、これまでの情報や関わりに基づいて担当保健師から連絡をさせていただいている場合もある。

「相談体制の整備」の項目について、小児救急電話相談は岡山県の事業のため正確な件数は

把握していないが、2年間で約200件と報告があったので、年間では約100件である。に
いみ24時間安全安心ダイヤルは年間で400～450件の相談があり、その中で小児に関す
るものは約50件である。

新見市公式LINEの登録者数は把握していないが、令和7年10月から親子手帳のアプリ
を配信しており、約100件の登録がある。

○委員

分娩の取り扱いが令和7年3月で終了した後、救急車で妊婦を搬送するにいみママ・サポー
ト119の運用を開始したとあるが、令和7年4月以降に実際に搬送した件数は何件か。また、
搬送先と、里帰り出産等でも利用ができるか教えてほしい。

○事務局

令和6年10月からいみママ・サポート119を運用しており、運用開始からの搬送件数
は4件である。搬送先については、一番遠くて倉敷市であるが、妊婦の希望先の病院へ搬送す
るため、地域によっては県外への搬送も考えられる。また、里帰り出産についても利用対象と
しており、倉敷市や岡山市への搬送を希望した登録をしている方もいる。

○委員

保育の質の確保や保育教諭の資質向上といった目標があるが、以前勤めていた会社でも、本
当に人手不足で人材の確保に苦慮していた。保育教諭の資質向上の前に、市内の保育所、認定
こども園の保育教諭の充足状況はどうなっているのか。

○事務局

市内の保育所、認定こども園の保育教諭の充足については、少子化の影響もあり、国が示し
ている配置基準を上回る職員を配置できている状況である。

○委員

市内の企業も本当に人手不足となっており、定年後の人にもお願いをして人数を確保してい
る状況である。保育教諭について、持続的に保育サービスを提供していくうえで、様々なノウ
ハウが伝承される仕組みとして、30代、20代といった世代ごとに計画的な人材確保が行わ
れているのか。

○事務局

年代ごとに偏りがないような採用をお願いしております。

○会長

令和6年度新見市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について、本日の意見を反映し
た修正が必要であれば修正を行い、そのうえで修正後の内容を承認するということによろしい
か。

〈挙手にて承認〉

令和6年度新見市子ども・子育て支援事業計画の点検・評価について、本日の意見を反映した修正が必要であれば修正を行ったうえで承認することとする。

議事② 第3期新見市子ども・子育て支援事業計画の変更について

事務局から

第3期新見市子ども・子育て支援事業計画への記載が義務付けられた、誰でも通園制度及び満3歳児以上限定小規模保育事業について説明。

○会長

第3期新見市子ども・子育て支援事業計画の変更について承認をお願いします。

〈挙手にて承認〉

第3期新見市子ども・子育て支援事業計画の変更について承認。

議事③ 新砥保育所及び新郷保育所の今後について

事務局から

新砥保育所及び新郷保育所の今後について、休園の経緯や地元との協議を経て、今年度末での閉園に向けて手続きを進めて行く旨を説明。

○会長

新砥保育所及び新郷保育所の今後の方向性について、賛同いただける方は挙手をお願いします。

〈挙手にて承認〉

新砥保育所及び新郷保育所の今後の方向性について賛同することとする。

議事終了。

(5) その他

発言なし。

(6) 閉会

副会長挨拶。